

大統領選挙

も書店が開いていないとなると、アマゾンやBN.com(大手書店バーンス&ノールブルのネット販売)などのオンライン書店から注文することになる。

タイミングよく、アメリカ書店協会(ABA)の協力で立ち上がったBookshop.orgが予想を上回る好調な出だしを切ったのが、その後イギリスでも注目さ



コロナ禍の休業で経営危機に陥ったが、呼びかけに応じてネット販売が増えた大型インデペンデント書店「ストランドブックス」(ニューヨーク)

る。この時期に売 渉するには、出版社側も大きく、海外に日本の著作を売ったノンフィク 断があつたからだろう。エージェンツ業ができなシヨンの本には、断があつたからだろう。エージェンツ業ができな組織化された人種 ちなみにサイモン&シュスター バルもZomなどのツ、差別を是正する方 を手放した親会社ヴァイアコムC えは遠隔でも催せるし、法を書いた本、ア BSは、以前よりメディアコング の編集者との繋がりからメリカの歴史の爪 ロマリットとしてマルチメディア 相変わらず入ってくるの痕を検証する本、でシナジー 効果を狙うのではないものはめつたなこと白人至上主義者とく、成長分野である映像娯楽作品 ない」のなどと楽観しの対話を説く本な のストーリーミング業に焦点を絞る 分もある。

「軽井沢で地域おこし」の意義(下)

軽井沢の地域特性を掘り起こす

前号(12月7日号)に引き続き、軽井沢の地域特性について語ってみたい。軽井沢の地域力は、その知名度である。誰もが知る別荘地でありリゾート地でもある。

にあり、目的を後付けし、出かけるのである。そういう魅力が軽井沢にはある。その地域特性を解明したいと企画・主催したのが、2020年11月21日に行った「公開勉強会」軽井沢を地域とした地域づくりに文化ふるさと快活事業」である。

2部構成で行い、第1部が前回(12月7日付)で紹介したフリーアナウンサー・山川建夫氏による寺田寅彦の短編随筆『天災と国防』の朗読会であつた。それは国際観

人びとが軽井沢へ行く目的は、いろいろある。観光・宿泊・研修・ゴルフ・別荘滞在、今の時期はスキーなど。最近、旅行の考え方として逆三段論法というのがある。目的↓場所↓決定として思考するのがふつうの三段論法であるが、逆の場合は、場所↓目的↓決定となる。

第2部は、公開勉強会で、①観光&イベント②コミュニティ&メディア③文芸&アートをテーマとして取り上げた。

光&イベント②コミュニティ&メディア③文芸&アート

地元力発見!

佐藤建吉 「光楓座」代表

軽井沢側のコメントとして、①



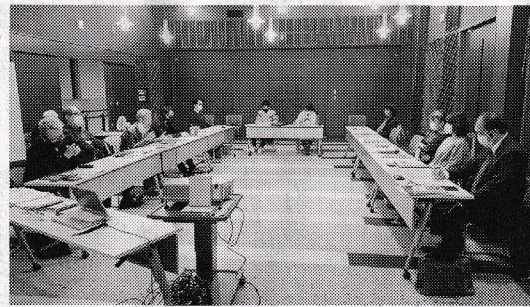
軽井沢の自然の中のドイツ木工玩具 (エルツおもちゃ博物館)

持続可能な未来につながる地元力を

最初のテーマの「観光&イベント」の地元側パネリストは、エルツおもちゃ博物館館長の土屋隆幸氏である。同館ではドイツの木工作具を導入しており、クリスマス前の時節柄、ドイツのピラミッド風車での国際交流について報告があつた。また、地元商工会の幹部として未来を意識したSDGsの取り組みについてお話いただいた。

対する東京側から参加のイトー・ノリヒサ氏は、大型イベントを手掛けており、軽井沢でのイベント開催の意義と方向性について報告を行っていただいた。

2番目のテーマの「コミュニティ&メディア」の地元側パネリストは、軽井沢新聞社の社長・広川美愛氏。軽井沢の観光や催事、別荘やそのオーナーの話題などの地元情報をメディアとして提供しており、取材・編集、そしてデザインなどについて軽井沢らしさを



公開勉強会の様子

特徴とする数誌を刊行している。このテーマでは、文化通信社で「ふるさと新聞ライブラリー」の運営を担当し、全国の地域紙の発行元や地域力に詳しい山岸修氏に、ふるさと情報の重要性和課題についてコメントとメールをいただいた。

最後のテーマ「文芸&アート」では、軽井沢朗読館の館長でもあり、また軽井沢町立図書館の名譽館長として月例の朗読会を行って

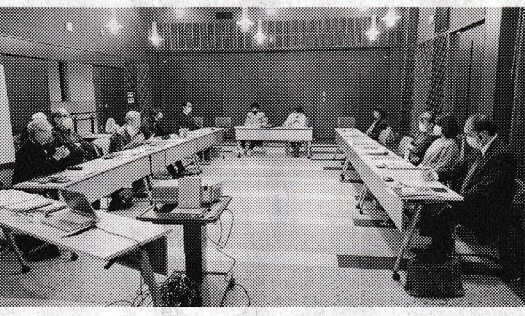
いる元NHKアナウンサー青木裕

子氏に報 は、毎週 番組「軽井 識の醸成、 を行つた、 識の醸成、 行つた、 の朗読活 ついての、 この公論 行われ、 者であつ により、 ができた、 井沢を見 と軽井沢、 任が自分、 も出され、 感じた。 軽井沢、 でなく国 しての地、 G7交通、 トなどで、 第2部で、 &イベン

る。この時期に売 渉をするには、出版側も大きく、海外に日本の著作を売り込む
れたノンフィク なって対抗するしかないという判 エージェント業がでなくなるか
ションの本には、断があったからだろう。 とも思ったが、ブックフェスティ
組織化された人種 ちなみにサイモン&シュスター バルもZomなどのツールを使
差別を是正する方 を手放した親会社ヴァイアコムC えは遠隔でも催せるし、知り合い
法を書いた本、A BSは、以前よりメディアコング の編集者との繋がりからも情報は
メリカの歴史の爪 ロマリットとしてマルチメディア 相変わらず入ってくるので、本と
痕を検証する本、でシナジー効果を狙うのではないものほめたことでは「死
白人至上主義者、成長分野である映像娯楽作品 ない」のだなど楽観している部
の対話を説く本な のストーリーミング業に焦点を絞る 分もある。

意義(下)

ト」の地元側パネリストは、エル
ツおもちゃ博物館副館長の土屋隆
幸氏である。同館ではドイツの木
工玩具を導入しており、クリスマス
ス前の時節柄、ドイツのプラミッ
ド風車での国際交流について報告
があった。また、地元商工会の幹
部として未来を意識したSDGs
の取り組みについてお話をいただ
いた。



公開勉強会の様子

特徴とする数誌を刊行している。
このテーマでは、文化通信社で
「ふるさと新聞ライブラリー」の
運営を担当し、全国の地域紙の発
行元や地域力に詳しい山岸修氏
に、ふるさと情報の重要性和課題
についてコメントとエールをい
だいた。

子氏に報告をいただいた。青木氏
は、毎週土曜の夜にFM軽井沢の
番組「軽井沢朗読散歩」でも朗読
を行っており、朗読による文芸意
識の醸成と定着をライフワークと
して実践する思いについて語って
くださった。また、第一部で朗読
を行った山川建夫氏からは、自身
の朗読活動と軽井沢との関わりに
ついての逸話が披露された。

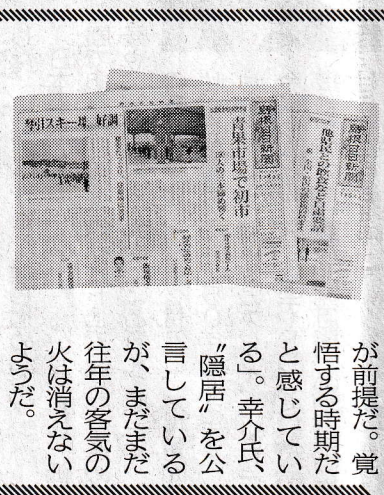
この公開勉強会は、コロナ下で
行われ、全員で20人足らずの参加
者であったが、町内外からの参加
により、熱心で有意義な意見交換
ができた。その中で、古くから軽
井沢を見て来た方からは、軽井沢
と軽井沢人のブランド力を守る責
任が自分たちにはあるという意見
も出され、地元への愛着と誇りを
感じた。

対する東京側から参加のイ
ト・ノリヒサ氏は、大型イベン
トを手掛けており、軽井沢でのイ
ベント開催の意義と方向性につ
いて報告を行っていただいた。

2番目のテーマの「コミュニ
ティ&メディア」の地元側パネリ
ストは、軽井沢新聞社の社長・広
川美愛氏。軽井沢の観光や催事、
別荘やそのオーナーの話題などの
地元情報をメディアとして提供し
ており、取材・編集、そしてデザ
インなどについて軽井沢らしさを

最後のテーマ「文芸&アート」
では、軽井沢朗読館の館長でもあ
り、また軽井沢町立図書館の名譽
館長として月例の朗読会を行って
いる元NHKアナウンサー青木裕
&イベント、コミュニティ&メ

1950年山形生まれ。
東京都立大院卒。元千葉大
大学院工学研究科准教授
(金属疲労専攻)。金属疲労
の研究のほか、他分野の
テーマの研究開発に努める
とともに日本各地の地域お
こし活動に従事する。ロー
カル鉄道と地元の酒蔵のコ
ラボで地域再生を図る地酒
「鐵の道」の製造・販売を
企画、すでに10件を超える
銘柄を送り出している。一
般社団法人「洗風座」代表。
「全国ふるさと大使連絡会
議」理事



が前提だ。覚
悟する時期だ
と感じてい
る。幸介氏
「隠居」を公
言している
が、まだまだ
往年の客気の
火は消えない
ようだ。

行雲流水

山口 健

某月某日
親戚や義弟の家族の来訪もな
く、静かな正月元旦の朝である。コロナ・バブルで米国は180
母と妻と3人で『味の手帖』でお 我が国も12.5%を超える危
世話になっている「新宿京懐石 域に達している。バブルが弾
柿傳」と「金田中」のお節を啄む。のは時間の問題だろう。

西京味噌漬の「ちしやとつ」 某月某日
は翡翠色の莖を玉石の翡翠になぞ
らえ、生鮎にした「さごち」は 鯖 会総会後の記者会見と、「新
の若魚ゆえ成長とともに名を変え 授賞式に出席する。

硬い殻が家庭を守ることに由来す 2ヶ月間にわたり開催され
る、と目出度き所以を献立表で知 フトブックキャンペーン」の
る。なるほど、と舌鼓を打つ。 展開の様子が写真で紹介され
午後にはポン友夫妻が来訪。日本 展の。効果測定中であるが、プ
酒、シャンパーニュ、ワイン白 ント企画への応募状況では京
白・赤、ウイスキーを痛飲。 茨城が突出して多かった。こ
大垣書店・大垣守弘社長とブ

某月某日
午後より仕事始め。今年は神田 エース・奥野康作社長のリー
明神への初詣を中止し、ウーバー シップのもと、全社一丸とな
イツで餃子と鶏唐揚げ、寿司を 取り組んだ証左に他ならない。
取り寄せ、ビールと到来物の日本 社の数字が楽しみなことであ
酒で小宴。歳暮の品々をじゃんけ 新風賞を受賞した『ほくは
ん大会で分け合う。 ローでホワイトで、ちよっ

のどかな年明けだが、イトー ル」の著者、ブレディみか
ヨーカ堂の創業者、伊藤雅俊さん からメッセージが寄せられ、
はかつて著書の中で、株式時価総 リスの片田舎の話がこれほど
額は名目GDPの半分くらいが適 にベストセラーとなったのは
正であり、(98年の執筆当時)米 とえに書店員の皆さんのお
国で15.0%となっているのは大 すと。ギフトブックキャン

恐慌前の様相を呈していると言 也も然りであるが、トップの
を鳴らした。10年後のリーマン ーターシップと現場の熱量、当
ショックを予見したわけである。 意識が成果を挙げている。

この時期に売 渉をするには、出版側も大きく、海外に日本の著作を売り込む
れたノンフィク なって対抗するしかないという判 エージェント業がでなくなるか
ションの本には、断があったからだろう。 とも思ったが、ブックフェスティ
組織化された人種 ちなみにサイモン&シュスター バルもZomなどのツールを使
差別を是正する方 を手放した親会社ヴァイアコムC えは遠隔でも催せるし、知り合い
法を書いた本、A BSは、以前よりメディアコング の編集者との繋がりからも情報は
メリカの歴史の爪 ロマリットとしてマルチメディア 相変わらず入ってくるので、本と
痕を検証する本、でシナジー効果を狙うのではないものほめたことでは「死
白人至上主義者、成長分野である映像娯楽作品 ない」のだなど楽観している部
の対話を説く本な のストーリーミング業に焦点を絞る 分もある。